

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

「つながる力をそだてよう」
～地域の一員であることを自覚し、誇りを持つ子どもを育てる～

【今年度の取組紹介】

コロナ禍の中、子どもたちが楽しんで地域の方とふれあうことができるよう小学校と地域コーディネーターが数回の話し合いを持ち、1月17日(火)1限目・2限目に1年生の「昔遊びの会」を開催しました。久々の開催に40名もの地域の方が集まってくださいました。3クラス81名のかわいい1年生たちは、4班に分かれて会場を順序良く回りました。体育館では羽根つき、けん玉。教室では駒回し、折り紙、あやとり、ぼうずめくり。どのコーナーも地域の方と1年生とが仲良く和気あいあい昔遊びに取り組み、とても楽しいひとときを過ごすことができました。外は震えるほど寒いのに活気があふれとても盛り上がりました。後日学校の休み時間に伺った時、上達した駒回しやあやとりを「みて～みて～」と自慢げに披露してくれて、当日だけでなく昔遊びに夢中になっている姿が見られました。子どもたちからお礼の手紙が地域の方に届けられ「来年もお手伝いに行きたいです。」という声も。地域の方も子どもも良い思い出になりました。今後も地域とのふれあいを大事にしていきたいと思います。



【今年度のまとめ】

《 昔遊び 》

「子どもたちは地域の方が教えに来てくださることをとても楽しみにしてきました。当日もたくさんの笑顔を見ることができ、今後もこの活動を続けてほしいです。」という声を学校からいただきました。ゲーム好きな子どもたちからは「駒を手のひらにのせられるようになったよ。」「お花の折り紙ができたからあげる」と。地域の方とのふれあいを通して、子どもたちの遊びが広がったのではないかと思います。

【来年度に向けて】

来年度は、コロナの対応も緩和され、より充実した活動が期待できると思っています。子どもたちと、一杯触れあい、つながりを深めていきたいと思っています。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

「つながる力を育てよう」 ～「伏見中 大好き！」と心から言える日のために～ 地域と共に育つ生徒の育成

【今年度の取組紹介】

◆「100万回生きたねこ」の読み聞かせ【読書活動推進事業】

図書ボランティアさんに読み聞かせをしていただきました。

毎年1年生を対象におこなっていただいています。

「前に読んだことがあったけれど、読んでもらうことでまた感じ方が変わりました。」「本のイラストの見せ方が上手で、お話の世界に引き込まれました。」「ぜひ、また来てください。」と、読み聞かせならではの感動を味わうことができたようでした。



◆『本物に学ぶ』【キャリア教育推進事業】

将来の仕事を見すえて、「職業学習（キャリア教育）」を行っています。『本物に学ぶ』と題して地域のその職業の専門家の方々をお迎えし、お話をお聞きし、体験もさせていただきました。今年度も職場体験学習を実施することができなかったので、1、2年生両方の学年を対象にして3年振りに行うことができました。その仕事のやりがい、大変さ、喜びなどを実際にお聞きし、学ぶことの多い有意義な時間となりました。



【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染症対策をとりながら慎重に活動をすすめました。漢字検定も3回行うことができました。教室、手指の消毒、マスクの着用、検温等、徹底しました。図書ボランティアさんたちは来校する人数を制限し、マスクとマウスガードの併用着用で対策してくださいました。外でおこなっている花植えボランティアや環境整備清掃などは地域の方々と生徒たちが一緒に活動することができました。地域連携を主軸とした、「地域と共に育つ生徒の育成」を目指し、今年度はできることを考えて、取り組むことができました。

【来年度に向けて】

今年度は、地域交流事業（伏見まつり、西大寺地区の防災訓練等）に生徒たちもボランティアとして参加することができました。こんな時だからこそ、情報発信・啓発活動にも力を入れ、コーディネーターやボランティアによる、よりよい体制づくりに取り組みたいと思います。

めざす子ども像 **地域に誇りをもち、心豊かに、共に生きぬく子ども****取組目標** 「いきいきわくわく地域とともに」～伏見でふれ合い、学び、育つ伏見っ子～地域に根ざした「自ら学ぶ子ども 心豊かな子ども たくましい子ども」の育成**【今年度の取組紹介】**

主な柱を「地域連携による『伏見まつり～子どもの笑顔が地域を笑顔に～』の開催」「地域文化遺産学習等を通じた学校教育活動の充実」「共同環境整備作業や本の補修作業等を通じた学校環境整備」とし、取組を進める予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で縮小したものもありました。また、数年ぶりに開催したものもあり、いくつかの取組を実施しました。

「子ども見守り活動事業」では、子どもの登下校の時間に多くの地域の方々に通学路に立っていただき、子ども見守り隊の方々にパトロールをしていただき、安全を見守っていただきました。

「伏見まつり」が3年ぶりに開催されました。小学校、伏見公民館、ふれあい会館の会場は、各団体の出店や警察や消防、自主防災による体験コーナー、体育館や公民館などでの展示や発表などが行われました。また、3か所の会場を回るスタンプラリーも行われ、多くの参加者で大盛況でした。

このように、多くの方々が、より良い学校環境づくりに力を尽くしてくださいました。

**【今年度のまとめ】**

教育活動の活性化、地域拠点としての学校機能の維持向上、子ども・地域・学校相互のより良い関係形成の面において、次のような様子から一定の効果を得ることができたと考えています。

- ・地域の方との交流の機会が少なくなったが、その中でも、子どもたちが地域の方との活動を通して、地域に対する愛着や関わってくださった方々への感謝の気持ち等が育ってきました。
- ・学習を通して、子どもたちが自分にできることを考える等、心豊かでたくましく育つ素地となる活動や体験を行うことができました。

【来年度に向けて】

諸活動に携わってくださる方の世代交代や新たな人材の参加は徐々に進みつつありますが、継続的かつ安定的な人材の確保が課題であると考えます。また、働き方改革の観点からも、事業の見直しの必要があると考えます。地域の方のボランティアとしての参加方法や教職員の地域行事への参加方法を検討していく必要があると考えます。更に、コロナ禍が明けてからも、今までのあたりまえを見直していく観点からの取組の検討も必要であると考えます。

めざす子ども像 **地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども**

取組目標 「出会いと体験から豊かな学びを」ー地域ぐるみの子育てー

【今年度の取組紹介】

読書活動推進事業

【お話の会】と【図書ボランティア】の方々に図書館教育の充実にお力添えをいただいております。お話の会では、各教室で本の読み聞かせをしていただきました。図書ボランティアの方が自作の紙人形・脚本を用いたパネルシアター劇で、本の紹介をしていただきました。コロナの感染状況に応じて、動画を撮影していただきオンラインによる配信もしていただきました。本の修繕や図書館の充実にもお力添えをいただいています。本との出会いを通して、心豊かな子に育ててほしいと願っています。

授業サポート事業

植物の栽培を通して、豊かな学びの場を創造するために、地域の方にご尽力いただきました。お米作り体験、さつまいも栽培体験、野菜栽培体験、花いっぱい運動等にご尽力いただきました。豊かな体験を通して学びを深めることができました。



【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえつつ、本事業の一層の充実を考えての取組となりました。学校に地域の方が集まっていたいただき、学校と地域の連携がさらに深まり充実した取組が実施できました。読書活動の推進事業をはじめ、田植えや稲刈りの体験学習、環境支援事業（学校周辺の花いっぱい運動）も実施することができました。

ご協力いただいたすべての方のご尽力をもって、体験を通して子どもたちが「心豊かに育つ」学校教育が展開できたと考えております。

【来年度に向けて】

本事業の充実をすべての関係者の皆様のお知恵をいただきながら、「地域に誇りを持ち心豊かに共に生きぬく子どもの育成」に向けた取組を継続・発展させていきたいと思っております。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

自分たちが暮らす地域に親しみを持ち、自分たちが地域の人たちに支えられていることを感じられるような行事を作っていく。

【今年度の取組紹介】

◆ぶっくらばこさんによる図書室整備【読書啓発事業】

ぶっくらばこの活動として、年間通じて対面での読み聞かせ活動を行うことができました。読み聞かせをしていただいたボランティアの方は「対面での読み聞かせは、子どもたちの反応を感じられるので、とても楽しく意欲がわく。」とお話されていました。子どもたちは図書室に通う機会も増え、図書に親しむ姿が多く見かけられました。また、図書室の環境整備として、子どもたちが気持ちよく読書が行えるよう、ブッカーかけや棚の整理などに力を注いでくださいました。



◆ケナフで感謝の気持ちを伝えよう。【地域に学ぶ事業】(2年生)

子どもたちが栽培したケナフを利用し、はがきを作り挑戦しました。ケナフの栽培・はがきづくりには、ゲストティーチャーとして地域の方(自主防災・女性防災クラブ・すこやか会等)をお迎えし、体験活動を行うことができました。子どもたちが完成したはがきに感謝の気持ちのメッセージを書き、ボランティアの方々に届けることができました。この交流を通して、地域の方々と子どもたちとの繋がりが深まりました。また、登下校や地域行事でお世話になっている地域の方にも感謝の気持ちを届ける取組となりました。



【今年度のまとめ】

コロナ禍の為、地域の方と交流する規制が緩和され、年間通じて環境整備事業・読書啓発事業・地域に学ぶ事業を中心に実施することができました。地域に学ぶ事業では、地域の方々にゲストティーチャーとして来校していただき、「昔遊び体験」(1年生)・「ケナフで感謝の気持ちを伝えよう」(2年生)・「防災体験」(4年生)・「平和学習」(6年生)を実施することができました。地域の方がゲストティーチャーとして来校していただくことで、地域の方とつながりが生まれ、子どもたちが地域に愛着を持つ良き体験事業となりました。来年度はさらに、より豊かな体験活動ができるように計画していきたいと考えています。

【来年度に向けて】

来年度も読書啓発事業・環境整備事業・地域に学ぶ事業を中心に子どもたちがより地域に親しめるような体験活動を実施していきたいと考えています。また、子どもたちにより豊かな体験活動ができるようにコーディネーターと協議しながら進めていきたいと考えています。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく**子ども**

取組目標

身近な人と人との輪の中で、豊かに学び、自ら考え行動する子どもを育成する。

【今年度の取組紹介】

～地域の人と一緒に楽しもう事業～

【英語を楽しもう】

年3回、地域の方にゲストティーチャーとして来ていただき、英語での挨拶やふれあい遊び、絵本の読み聞かせをしていただきました。友達と一緒に英語に触れ、体を動かしながら外国の文化に親しむきっかけにもなりました。普段の遊びの中でも教えていただいた英語を使った遊びをしたり、歌を歌ったりして自然と英語に親しむことができました。



【人形劇】



年2回、地域で人形劇を主宰する方にゲストティーチャーとして来ていただき、楽しい人形劇を見せていただきました。人形劇を見ることで想像力を広げたり、登場人物の心情に共感したりして豊かな感性の育ちにつながりました。また、人形劇の舞台裏を見せていただき、からくりや仕組みに子ども達の興味が広がりました。毎回人形劇を観ることを楽しみ、豊かな心情や話を聞く態度が育まれました。

【今年度のまとめ】

地域の方やゲストティーチャーとの体験活動は普段経験できないことに触れる機会となり、子ども達にとって豊かな学びとなりました。また、地域の方々がいつも温かく接して下さることで、回を重ねるごとに、子どもたちは親しみを感じ、自分から挨拶をしたり話しかけたりするなど積極的に関わっていく姿につながりました。新型コロナウイルス感染症対策の為、クラスごとで、時間も限られる中ではありましたが、子ども達は毎回活動を楽しみにしており、園での活動が地域とつながり合う場となりました。

【来年度に向けて】

来年度も地域の方や子ども達が安心して活動に取り組めるように、様々な安全対策を講じながら、園、地域、家庭と連携し、子どもにとってよりよい心豊かな体験ができるように、事業を継続していきたいと思います。地域と子どもがつながり合う喜びを感じることができるよう、保育の内容を検討し計画していきたいと思います。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、**共に生きぬく子ども**

取組目標

地域とのつながりを感じる・広げる・深める**～地域の教育力を活かし、心揺さぶられる感動体験の充実と心豊かな子どもの育成～**

【今年度の取組紹介】

◇蚕の飼育・喜光寺への園外保育（世界遺産学習事業・地域学習事業）

5歳児が中心となって1ミリぐらいの大きさの卵から蚕を育てていきました。大きくなるために必要なことを図鑑で調べたり、園内にある桑の葉が蚕にとって大好物であることを知り、毎日欠かさず餌やり等の世話をしました。日々成長する蚕に「プニプニして可愛い。」と愛着をもつようになり、成長過程がわかるように日記を書くことで他学年や保護者、地域の方も関心を持ち、語らいの場が生まれたり、友達と協力して育てることを喜んだりして、充実感を味わうことができました。また、成虫になった蚕が餌も食べずに糸を出して繭になろうとしている姿を見て、はかない命へのいたわりの気持ちが芽生え、大切に育てたからこそ、命の大切さに気付くことができました。そして、昔は洋服をつくる等生活するために蚕が必要であったことを知り、昔の人に思いを馳せながら、自分たちの生活と結びつけて考え、取り組みました。さらには、1月に地域の方と一緒に喜光寺へ出かけ、繭を紡いで一本一本の絹糸にしてコロナ終息の思いを込めてつくった『マスク』を奉納しました。奉納すると副住職から「大切な命の重みを込めてつくられたものなので、大切にします。」と仰っていただきました。この経験を通して、自分の住んでいる町のことを知り、文化財に触れたり、人の素晴らしさに気付いたり、豊かな心を育むことができました。



◇お茶会（体験活動事業）

地域の教育力を活かし3年ぶりに再開したお茶会。お茶の立て方やお辞儀の仕方、お茶碗を回す意味などの茶道の作法や思いやりの心、季節に応じた掛け軸、生け花なども見せて頂き、目や香りから情緒ある季節を感じることができました。家庭ではなかなか経験することができない初めての作法に関心を寄せ、地域の方の言葉がけや関わりにより、温かい雰囲気の中で体験することができました。また、「泡がいっぱいできた」「抹茶は苦かったけど自分で点てたからおいしかった」と自分が点てた抹茶を味わって飲んでいました。古くから伝わる日本の伝統文化に触れ、人の心を大切にする「おもてなし」の文化を学ぶ機会となりました。



【今年度のまとめ】

地域の方が主となり子ども達のために活動した「いきいき広場」「絵本の読み聞かせ」の地域交流事業や、英語に触れて遊んだりサッカーで体を動かして活動したりする体験活動は、子ども達の心を動かし、人と関わる嬉しさや楽しさを感じ、豊かな心が育ちました。また、活動を継続することで、「楽しかった」「もっとやってみたい」と意欲や自信に繋がりました。地域の方は「子ども達のために」と協力を惜しまず、温かい雰囲気や眼差しで一人一人を認める言葉がけをしてご尽力くださいました。子ども達は地域の方の優しさを感じ、人と関わる心地よさや親しみ、感謝する気持ちをもつことができました。

【来年度に向けて】

今年度取り組んだ活動内容を踏まえ、次年度も継続して取り組む活動と、子ども達の実態に合わせた活動を取り入れながら計画し、子ども達の豊かな経験となるように進めていきたいと思っております。各取組で学んだことや感動が日々の子ども達の遊びにつながっていくよう工夫していきたいと考えています。また、ホームページや掲示物等で情報をリアルタイムに発信し、園・地域・家庭が連携を密にできるようにしていきたいです。